

一般社団法人松本観光コンベンション協会

令和7年度 第4回理事会議事録

1 開催日時

令和8年3月5日（水） 午後2時～3時20分

2 開催場所

松本市大手公民館2階 大会議室

3 理事総数

16名 出席理事数10名（定足数8名 会議成立）

出席者

齊藤 茂行、二木 伸次、齊藤 元紀、小原 直樹、山田 善敬、林 信利、
伊佐治裕子、小口 一夫、伊藤 亮二、宮之本 伸

欠席者

中澤伸友、小林史也、市東一也、北沢敏広、田中 均、小林新蔵

4 監事

井爪 真也（出席） 鶴見明夫（欠席）

5 議長

齊藤 茂行

6 議事の審議状況及び議案別議決結果

定刻に至り司会者小原事務総長が開会を宣し、本日の理事会は定款所定数を満たしたので、有効に成立することを告げた。

前回理事会で理事事業所向けに協力を依頼した給与調査につき、協力への礼と集計結果として年間給与の平均額が3,665千円であったことが報告された。

定款の規定により齊藤会長が議長に選任された後、議案の審議に入った。

(1) 議案第1号 令和7年度第2回社員総会提出議案について

令和8年度事業計画（案）並びに令和8年度収支予算（案）について宮之本事業本部長、木下管理部長から資料に基づき説明があった。（新事業については特に①AI混雑状況可視化システムと、②観光ガイド登録制度について詳細な説明があった）、会長が会場に諮り、満場一致をもって承認された。

意見として下記があった。

- ・協会にとって令和8年度は非常に重要な年となる。ゆくゆくは自走し、稼ぐことのできる組織となり、税金で賄われる比率を下げていくことを望みたい。（小口理事）
- ・宿泊税関連の補足説明として伊佐治理事（松本市副市長）から、市がインフラ整備等を担当し、役割分担相応として約半分が協会に負担金として支出されるとの解説があった。

→ ①現在の自主収益2%は低すぎると認識している、②旅行商品企画等によ

り収入を増やしていくことを検討している。但し、③協会の目的は観光関連を含め地域の事業者が潤うことであり、収益関係に関しては何よりバランスに大切にしていきたい。(事務局)

- ・自主事業の展開については、他の協会、DMO等で参考になる事例はあるのか。(伊藤理事)

→ 収益源としては①施設管理、②物販等があるが、着地型旅行商品造成で大きな収入を得ている協会(団体)があり、参考にしたい。率においては2%から2割程度までボリュームアップしていくのが目途と考えている。(事務局)

- ・市街地に売り場がない事業所にとっては、休業、事業終了で「遊んでいる」スペースを紹介、繋いでくれる仕組みがあると助かる。協会にはそんなこと、仕組みが作り出せないものかと期待している。また、多くの旅行者は街・観光地の紹介・案内をグーグルに頼っているのが現実。潜在的な可能性、素材のあるこの松本を上手に紹介、人々に認知される方法を協会に考えていってもらいたい。(林理事)

→ 観光DX担当マネージャーと連携して、地域の観光事業者に対しGoogleビジネスプロフィール(GBP)登録推進活動を進めていきたい。(事務局)

(2) 議案第2号 事務所移転と不動産賃借(契約)について

事務所移転と不動産賃借(契約)について木下管理部長から説明があり、満場一致をもって承認された。

(3) 議案第3号 組織変更と職員採用について

事務所移転と不動産賃借(契約)について木下管理部長から説明があり、満場一致をもって承認された。

(4) 連携協定の締結について

連携協定の締結について宮之本事業本部長から説明があり、満場一致をもって承認された。

以上をもって議案の審議が終了したので、議長が閉会を宣言し解散した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び監事1名がこれに記名押印する。

令和7年3月5日

一般社団法人松本観光コンベンション協会

議長・代表理事 齊藤 茂行

監事 井爪 真也